33 01 04 01 05 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　平成24年09月14日(金)

事務事業	訪問指導事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3357
総合振興計画 基本戦略	000004 少子高齢社会をこころ豊かに暮らせるまちづくり	事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□		
総合振興計画 主要プロジェクト	000001 健康づくり推進プロジェクト				サービス拡充 有□		
総合振興計画 行政分野別 大項目	000002 安心して健康に暮らせる福祉のまちづくり＜保健・福祉＞	根拠法令個別計画等	健康増進法（Ｈ２０年度～）老人保健法（～Ｈ１９年度）				
総合振興計画 行政分野別 中項目	000001 健康づくりの推進と医療の充実						
総合振興計画 行政分野別 小項目	000001 健康づくり活動の推進						

事業概要	本事業は、心身の状況や置かれている環境等に照らし、療養上の保健指導が必要な家庭に保健師等が訪問し、必要な指導を行い、心身の機能低下の防止と健康の保持増進を図るものである。
目的 ※何のために	市民の心身の機能低下の防止と健康の保持増進を図るため。
対象 ※誰・何を対象に	深谷市に住民登録しているかたで、心身の状況、生活環境等に照らし、療養上の保健指導が必要と認められるかた
手段 ※どのように	保健師等が家庭を訪問し、必要な指導を行う。
成果 ※何を求めるか	家庭において、必要な保健指導を受けられる。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	05	健康増進費	訪問指導事業	3,316,502
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

- 訪問指導
- 健康情報管理（健康管理システム）＊Ｈ２３年度まで
- 会議
-
-
-
-
-
-
-

2．事業費（投入コスト）

※当該年度以降の数値は内部検討のため試算したものです（未確定数値）　単位：円

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年度別計画			訪問指導者の買換え	健康管理システムリースアップ		
事業費 予算（現額）	9,506,000	10,478,000	13,555,000	3,355,000	200,000	200,000
事業費 決算額	8,415,881	9,364,623	10,482,383	3,316,502	0	0
財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	0
財源内訳 県支出金	139,000	139,000	139,000	74,000	139,000	139,000
財源内訳 地方債	0	0	0	0	0	0
財源内訳 他特定財源	0	0	0	0	0	0
財源内訳 一般財源	8,276,881	9,225,623	10,343,383	3,242,502	61,000	61,000
人件費 従事職員数(人)	0.90	0.90	0.90	1.01	0.98	0.98
人件費 人件費相当試算 ※１	7,690,870	7,301,641	6,942,600	7,766,900	7,741,020	7,741,020
	0	0	0		0	0
(総事業費試算)	16,106,751	16,666,264	17,424,983	11,083,402	7,941,020	7,941,020

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標なし
■	活動指標１	年間訪問指導延人数	目標値	人	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	□
			実績値		184.00	187.00	193.00	225.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		今までの実績から、目標値を設定した							
		訪問指導延人数（実績）									
■	成果指標１	訪問指導が必要なかたへの実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		訪問指導の必要なかたには、全数訪問指導することを目標とした							
		必要なかたへの訪問指導実施率									
■	効率指標１	訪問１件当たりのコスト（Ｈ２２から設定）	目標値	円	0.00	0.00	35,900.00	35,000.00	34,000.00	34,000.00	□
			実績値		0.00	0.00	35,972.00	34,519.56	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		希望者に訪問しているため予想が難しいが、Ｈ２２年度を基準に目標値を設定							
		人件費／訪問延人数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

4．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動（意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 精神保健分野の訪問指導が増加しており、訪問指導数は目標値を超えることができた。
成果（意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 急遽、訪問依頼のある場合もあるが、訪問希望のあるかた、訪問指導が必要なかたには、全数訪問することができた。
効率性（効率的に事務を行っているか）	-	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 訪問指導が必要なかた等に訪問指導を実施しているため効率性を重視することは難しい。１件当たりのコストは保健師を保健センターに集約したため、人件費が増加したが、実績も増加したため、やや減少している。

評価者	第一係長　小井土和美　第二係長　高橋祐子

5．前年度改善改革プラン達成状況

前年度改善・改革案	複雑な問題を抱えた家族への訪問指導など、精神疾患に関する訪問指導が増加しており、今後も、関係機関との連携を深めていく。
達成状況及びその効果	近隣住民や民生委員からの相談や庁内関係各課との同伴訪問など、対応の難しいケースも多かったが、関係機関との連携を重視して、訪問指導できたと思われる。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	訪問指導事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3357

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

複雑な問題を抱えた家族への訪問指導が多く、対応に苦慮する場面も多々あるため、関係機関との連携は、より一層重要になっている。
今後も、市民が利用しやすいよう、訪問指導の周知に努める。

評価者	保健センター所長　田高　博

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

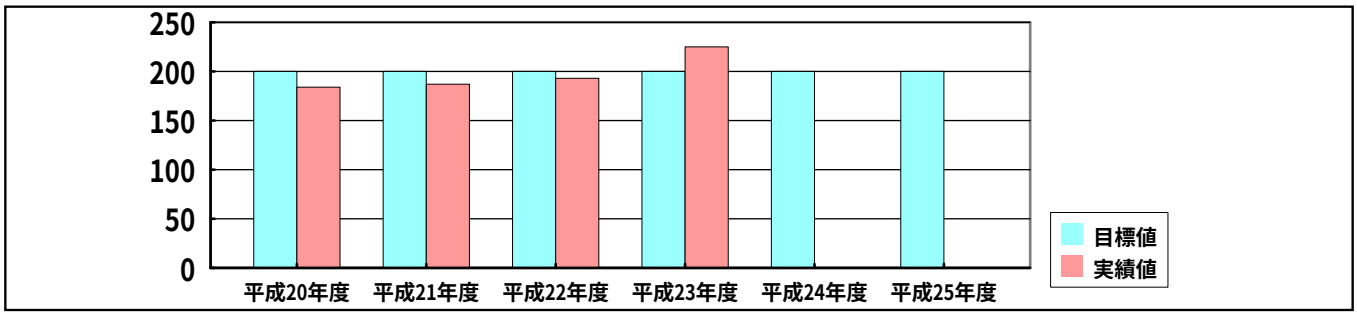
改善・改革案	今後も、広報やちらし等で、保健指導事業を周知するなど、悩みを抱えた家族や本人が利用しやすいよう周知に努める。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

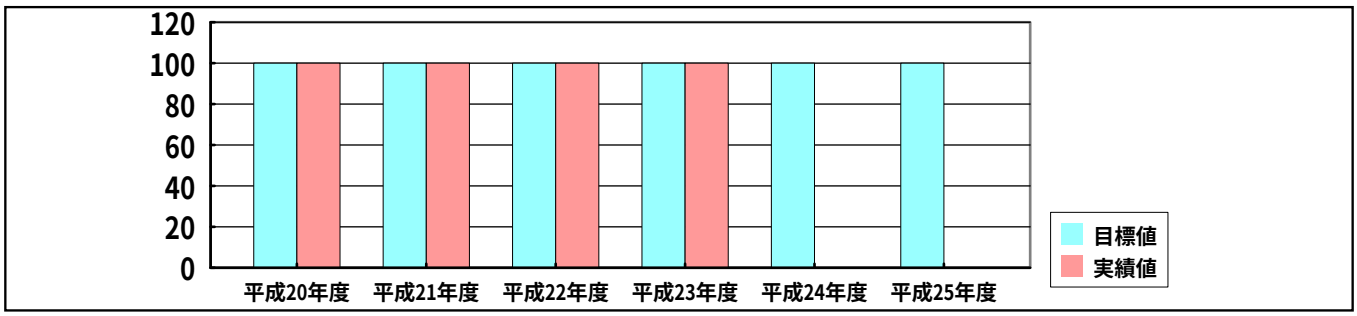
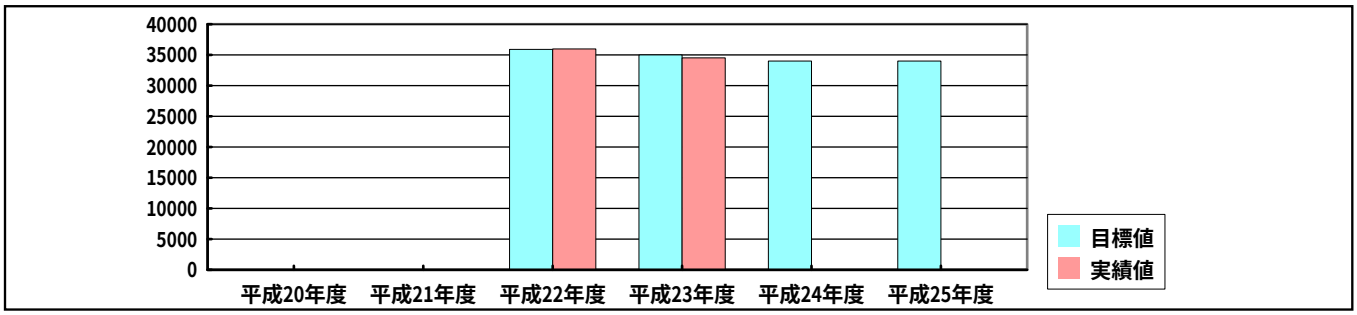
今後の課題	精神保健分野の訪問指導が増加しているが、訪問指導の内容が複雑なケースも増加しているため、訪問指導の質の向上に努める必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	年間訪問指導延人数



区分	成果指標１	指標名	訪問指導が必要なかたへの実施率



区分	効率指標１	指標名	訪問１件当たりのコスト（Ｈ２２から設定）